

## 序 に か え て

学 校 長 近 藤 貞 次

いま、本校の先生方がその研究と学校の沿革・現状を紀要にまとめられたのを見て、感慨深いものがある。

いままで、本校は運動場もない借家校舎であった。わたくしの見るところではそういう環境の中で教育を行うことだけでもなみだいていの努力ではない。しかし、先生方はそういう環境の中にあっても、その教育活動を時代の歩みとともに進歩させ、日々の教育技術を向上させようと研究を続けることをやめないのであった。収録されている研究を見るといずれも地味なもののみである。思うに、ここに研究を発表された先生方は地味な教育活動にまじめに取り組んでいる人々である。はなばなしいことがあろうはずがない。はなばなしい仕事はほかにする人があるであろう。

研究は未熟の域を脱していないかとも思われる。しかし、わたくしの見るところでは、将来を約束された未熟である。長い目をもって見ていただきたい。